

平成21年度 串間市立市木小学校 学校関係者評価書

4段階評価 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

本年度の重点目標

- 基礎基本の徹底に基づいた学力向上      ○ 豊かな心と望ましい人間関係を育てる生徒指導の充実      ○ 体力向上と健康教育の充実

No. 1

評価項目	評価指標	結果の考察・分析及び改善策	自己評定	外部評定	学校関係者評価コメント
学力向上を図る指導の充実	○ 基礎的・基本的事項の指導を徹底し、基礎学力の向上を図る。	○ 少人数であるため、各児童の実態に応じた指導を展開することができた。基礎的事項の定着には家庭との連携も重要である。	3	3	<p>○ 新聞の投稿によく市木小の児童の作品を目にする。地域の方も楽しみにしている。低学年の児童も含めて、子どもたちの社会に対する意識も徐々によい方向へ変わってきているようである。視野が広がってきている。</p> <p>○ 親子での読書、校外講師による読み聞かせ等を多く行っていることはたいへんよいことだ。豊かな情操が培われることだろう。</p>
	○ 分かる授業を創造し、児童が堂々と自分の考えや思いを伝え合い、自主的・自発的な学習活動が展開できる。	○ 時間割を工夫し、4年生以下の複式解消を計画的に行うことができた。職員の研究授業も各自2度ずつ行うことができた。			
	○ 読書環境の整備と読書力の向上を図る。	○ 目標の1人100冊を達成することはできなかったが、読書環境も充実し、親子読書、読み聞かせ、ブックトーク等多様な取組ができた。			
心の教育・生徒指導の充実	○ 基本的生活習慣の定着を図る。	○ あいさつについて地域の方々からお褒めの言葉をいただくことが増えてきた。早起き、早寝、朝ご飯等保護者との連携を深めていく必要がある。	3	3	<p>○ 挨拶は、通行している車のドライバーへもできている。登下校の様子もよい状態が継続している。挨拶は、地域の人に自分を知ってもらい、いざというときに助けてもらえる「我が身を守る」ためのものでもある。</p> <p>○ 声をかける人は悪意をもつ人ばかりではなく、善意の人もある。善意に基づく行動に対応するソーシャルスキルトレーニングも必要ではないか。</p>
	○ 児童が期待をもって登校し、充実した思いで下校できるようにする。	○ 様々な体験活動、自主的な児童会活動、職員の特技紹介集会活動等により児童の学校満足度が目標値に近いところまでできている。更に継続を図りたい。			
	○ 安全に留意した生活ができるようにする。	○ 不審者対応への児童の注意力を高める取組が必要である。			

評価項目	評価指標	結果の考察・分析及び改善策	自己評定	外部評定	学校関係者評価コメント
体力向上と健康教育の充実	保健体育指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 業間活動を年間通して全職員で協力しておこなった。体力を高める取組は保護者の理解も得られている。</li> <li>○ 元気アップ通帳により基本的な生活習慣の重要性を繰り返し確認することができ、児童の意識も向上してきた。</li> <li>○ 脳と生活習慣、心と生活習慣との関係について専門家を招いて保護者・職員へ啓発研修を行うことができた。</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 少ない人数でも市の水泳教室や陸上教室で表彰されてがんばっているのを聞くとうれしく思う。</li> <li>○ 毎日、業間等で運動を行っているそうだが、運動の内容を変えることも必要ではないか。</li> <li>○ 基本的な生活習慣の中でも、朝ご飯をきちんと食べさせるような家庭づくり（家庭への啓発）が大切である。</li> </ul>
家庭・地域社会との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家庭学習のてびき」についてPTA総会、参観日等で啓発をおこなった。</li> <li>○ 家庭学習時間については低学年 30分、中学年・高学年 70分程度取り組むことができている。</li> <li>○ 福島高等学校との授業連携、行事連携をおこなうことができ一定の成果を上げている。</li> <li>○ 学校だよりを定期的に発行することができ、地域の方からも好評である。ブログについては9月以降更新が滞ってしまった。</li> <li>○ 地域人材を招聘し、講話等をしていただいたり、地域の農家へ行き、農作業の体験学習の指導をしていただいたりした。</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校だよりで児童の様子をよく知らせていただけなので、学校を応援したい気持ちになる。</li> <li>○ 児童を介して学校だよりを配布する方法は児童と地域との接点をつくる意義がある。</li> <li>○ 地域の方も児童の様子が知りたいであろうし、また、子どもたちが地域でのびのびと明るく生活できるように、学校だよりだけでなく、自治会や民生委員会等にも積極的に出会ってほしい。</li> </ul>